

総合政策学専攻【博士後期課程】

時期	項目	内容・目的等
入学前 (入学試験時)	指導教員教員決定	<ul style="list-style-type: none"> ●面接試験（指導志望教員＋2名）により研究希望領域および研究計画を確認 ●専攻委員会および研究科委員会にて入学試験可否と指導教員決定 ●必要に応じて副指導教員を決定
1 ・ 2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス ●研究科長・専攻長による学習に関する基本的事項の説明
		研究計画の確認と履修指導 ●指導教員による研究計画の確認 ●指導教員による研究計画にしたがった個別履修指導（履修相談）
		(1～3年次) 指導教員および副指導教員の演習科目履修 ●博士後期課程3年間にわたり指導教員の演習科目履修 ・研究計画の確認と修正 ・教員指導の下で計画に基づく研究の開始 ・博士論文の執筆方法等の確認 ・学会発表や学術雑誌投稿に関する指導
	5月上旬 10月上旬	研究構想発表会 ●前期課程の学生も含めた研究構想発表会で報告 ・研究構想へのアドバイスを心得て構想・計画の確認と見直し
3 年 次	4月上旬	研究計画の確認 ●指導教員による博士論文の構成等確認
	5月上旬	博士論文構成等発表会 ●博士論文の構成等を発表し、専攻教員のコメントを得る
	5月～11月	指導教員演習科目履修 ●博士論文の作成 ●研究計画に基づく研究の継続 ・国際的あるいは全国的学会での発表 ・学術論文の執筆と投稿
	12月	博士学位請求論文の提出 ●学位論文の提出（学位授与申請） ●12月専攻委員会・研究科委員会にて受理審議 ●研究指導教員を含む3人以上の学位審査委員会を組織（1名が主査、他は副査とする）
	12月中旬 ～2月	博士学位請求論文の審査 ●博士論文の審査 ●1月末～2月初旬：博士論文の内容、関連する学識その他に関する口頭試問の実施 ●2月専攻委員会・研究科委員会 ・学位審査委員会は審査結果を「学位審査報告書」として専攻委員会さらに研究科委員会に提出し、研究科委員会が最終的に審議決定する

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院経済学研究科総合政策学専攻学位審査に関する内規」に定める。